

京都駅周辺エリア まるごとゲートウェイ事業 の実績と成果について

令和8年3月27日

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業実行委員会事務局

大阪・関西万博を契機とした 京都の取組の成果

※「大阪・関西万博を契機とした京都の取組の成果に関する報告書」
(令和7年12月19日大阪・関西万博きょうと推進委員会) から抜粋

万博の経済波及効果

3兆541億円 (うち京都府 約1,993億円)

※ (一財) アジア太平洋研究所レポートを引用

(億円)

	万博関連事業費 による効果	来場者の消費 支出による効果	来場者の消費支出による効果		計
			うち、日本人	うち、外国人	
万博全体	14,102	16,439	9,963	6,475	30,541
うち京都	101	1,892	362	1,530	1,993
2府8県中	6位	2位	3位	2位	2位

※1 万博関連事業費とは、主催者等による会場建設や運営に関連する費用

※2 来場者の消費支出とは、来場者の交通費や宿泊費、買い物代等に関連する費用

京都の観光客等の動向

- 客室稼働率
 - 万博期間中 (4~9月) 対前年同月比で**各月ともup**
 - (万博開幕前 (1~3月) 対前年同月比で**各月ともup**)
- 日本人延べ宿泊者数
 - 万博期間中 (4~9月) 前年の同期間と比べて**約11.5%down**
 - (万博開幕前 (1~3月) 前年の同期間と比べて**約15.7%down**)
- 外国人延べ宿泊者数
 - 万博期間中 (4~9月) 前年の同期間と比べて**約13.7%up**
 - (万博開幕前 (1~3月) 前年の同期間と比べて**約18.7%up**)

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」

万博を契機とした京都の取組

- 関西パビリオンに万博の会期を通じて京都ゾーンを出展。多目的エリアでは、春夏各6日間ステージイベントや物産展を実施
- 4月23日に、EXPOホールにて、催事「EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来～」を開催
- 府内の全市町村において、大阪・関西万博アクションプランに掲げる326の取組を実施。広域的な取組や、民間の多様な主体と連携して進める11の取組をフラッグシップアクションとして重点的に実施。

万博会場での取組

<関西パビリオン>

- ⇒ 京都ゾーンでは、**概ね1週間のサイクル**で展示入替を実施
111団体が出展 **約47万人**来場（6分野24テーマ）
- ⇒ 多目的エリアでは、春と秋に各6日間、ステージイベントや物産展を開催 **延べ43団体**が出展。春・秋合わせて**約6万人**が来場

<EXPO KYOTO MEETING～和のこころと地球の未来>

- ⇒ 5つのトークセッションとパフォーマンスを披露 **5,676人**来場
企画から学生が携わり、**262人**が参画
- ⇒ 11/22には、京都市内で「EXPO KYOTO MEETING+」を実施
423人が来場



関西パビリオン



KYOTO EXPO MEETING

府内の取組

<大阪・関西万博きょうとアクションプラン>

- ・万博を契機としたツアーやイベントなど326の取組が府内の全市町村で実施され、取組全体で延べ**約345万人**が参加。
- ・アクションプランのうち、**11のフラッグシップアクション**のイベントに、**約112万人**が来場。



北野大茶会



けいはんな万博2025

< 4つの成果 >

国際交流の推進

公式参加国との交流が盛んに行われた

⇒ **51か国・地域、1 国際機関**

(万博公式参加国の約30%)

子ども・若者の参画

次代を担う若者が様々な形で参画し、主要な役割を担った。

⇒アクションプランの取組に携わった子ども・若者の数 **約5,000人**



<具体例>

地球環境の殿堂・未来会議において、学生106名が環境と文化の関係性を探求。取組の成果として「未来への宣言」を世界に発信

新たなネットワークの誕生

万博への出展や府内での取組を契機に今後の活動の発展や継続に向けたネットワークが新たに誕生



<具体例>

万博出展を契機に、福知山市夜久野町の地域住民やNPO等が丹波漆の振興や伝統産業化を目指して連絡会議を立ち上げ

ビジネス機会の拡充

海外からの多くの企業や政府関係者等と万博会場や府内において様々な経済交流が行われた。新たな技術・製品・サービスの開発及び万博会場等での展示・披露が行われた。

< 万博を契機とした京都の取組のレガシー >

「万博を契機とした京都の取組の成果の中で、文化・環境、産業、観光、地域、いのちの分野において、**中長期的な視点で新たな価値やつながりを生み出すモノやコト**」と定義

【代表例】

「①ポスト万博シティ」「②京都の茶文化を支える人々のつながり」「③一座建立」「④子ども・若者の参画」「⑤スタートアップの成長・新技術等の社会実装」「⑥関西広域周遊観光」「⑦京都駅周辺一帯の再定義」「⑧淀川舟運の復活」

京都駅周辺エリア まるごとゲートウェイ事業の実績と成果

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ

実施概要及び成果

【実施概要】

➤ 万博会期中、京都駅周辺エリアを玄関口として府域への誘客を促進するとともに、駅周辺一帯で京都の文化・芸術や地域の魅力に親しむ機会を創出した。

(1) 府域への誘客促進

(主な取組)

- ・EKISpot KYOTO：京都の万博関連情報発信拠点を京都駅に設置し、府域の魅力を体験できるイベントの実施や専属スタッフによるニーズに応じた目的地の案内を実施。
(設置期間：令和7年4月17日～10月19日(186日間)、延べ利用者数 約15万2千人) ※府民・市民生活と調和した観光推進の啓発を併せて実施
- ・周遊企画：大人気ゲーム「桃太郎電鉄」とコラボした街歩きイベント「リアル桃太郎電鉄～ホンマの京都・万博編～」や府内周遊スタンプラリーを実施(参加者数 約5,300人)。

(2) 京都の文化・芸術や地域の魅力に親しむ機会の創出

(主な取組)

- ・GATEWAY.KYOTO：東・西本願寺エリアを中心に、5月～10月にわたり、いけばな、日本画、写真、彫刻、工芸美術の作品展示等を開催。(参加者数約3万5千人)
- ・京都駅ビル芸術祭：京都駅ビルを舞台に、現代アート・伝統工芸・音楽パフォーマンスがジャンルを超えて響き合い、新たな文化体験を創出。(参加者数 約32万人)
- ・京都鉄道博物館における万博関連企画展「1970年 あの頃の交通展」：55年前に開催された万博の様子とともに、1970年頃の京阪神エリアの鉄道を中心とした交通の発展について紹介する企画展(参加者数 約9万8千人)
- ・Lightseeing Kyoto South：京都駅東部・東南部エリアの複数の拠点を舞台に、京都で活動する若手アーティストの作品展示などによる周遊型アートイベント。
(参加者数約1万5千人)

【実施成果】

➤ 京都駅及び周辺エリアにおいて、府内各地の魅力体験、イベント情報を発信する拠点の設置やオープニングイベントの開催、楽しみながら府内全域を巡っていただける周遊企画等を実施することにより、万博を契機とした府域全域への新たな人流を生み出した。

- ・EKISpot KYOTOでは、府内の魅力を体験・体感できるイベントを通じ利用者の興味や関心を引き出し、約3万7千人に専任スタッフがニーズに応じた目的地の案内を行うなど、より確度の高い府域への誘客促進を行うことが出来た。
- ・構成団体間で各事業を共有・連携することにより、プロモーションや誘客促進において相乗効果を生み出すことが出来た。

➤ 万博会期中、GATEWAY.KYOTOをはじめ、京都の多彩な魅力を感じていただけるイベントや展覧会等をエリア全体で展開(延べ34事業)することにより、京都駅周辺をいつ訪れても京都の文化・芸術や地域の魅力を感じられるウェルカムエリアとすることが出来た。

- ・京都駅周辺エリアをひとつのゾーンとして捉え、一体的な取組を進めることができた。

実施主体

京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ事業実行委員会
(京都駅ビル開発株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、京都府、京都市)

実施場所

京都駅周辺エリア及び府内全域

実施時期

令和7年3月～令和8年3月

関連HP

<https://expokyoto.jp/flagshipaction/kyotogw.htm>
|

【問い合わせ窓口】京都府総合政策環境部



万博後の取組

引き続き京都駅周辺エリアが、京都の文化・芸術や地域の魅力を感じられるウェルカムエリアであるとともに、府内各地への誘客を促す玄関口となるよう様々な主体において取組を継続していく。

京都府の取組

京都の万博情報発信拠点 EKIsport KYOTO(エキスポ キョウト)

万博を契機とした府域への誘客促進のため、府内の魅力を体験・体感できるイベントの実施や専属スタッフによる個々のニーズに応じた目的地の案内を実施

- ・設置期間:2025年4月17日～10月19日(186日間)・設置場所:京都駅ビル2階南北自由通路北側
- ・利用者数:延べ約15万2千人(うち約3万7千人にニーズに応じた目的地を案内)

【特別なイベントの実施】

<府内周遊の促進に向けて>

- ▶7月～、もうひとつの京都の5エリアを巡る「京都府周遊スタンプラリーEKIsport KYOTO」を起点として実施
- ▶9月24日～28日に、魅力発信ブースのフィナーレイベントとして、宇治市や八幡市による地産品の販売、人気ゲーム「フォートナイト」オリジナル京都マップによるバーチャル周遊体験、京都の隠れた魅力を現地で体感できる周遊巨大ガチャ、ミyakumiyakumayomaruのグリーティングなどを実施し、5日間で約1万人が来場

<万博ロス・アフター万博対策として>

- ▶万博閉幕の翌日の10月14日から19日まで、京都の万博関連スタンプが集合するスタンプイベントを開催。6日間で約8千人が来場。



魅力発信ブースでのフィナーレイベントの様子



情報発信拠点の様子

実績

開設期間中、延べ約15万2千人が利用し、約3万7千人にニーズに応じた目的地を案内した。また、魅力発信ブースでは、延べ11テーマ・52団体が出展し、府域の多様な魅力を発信。

成果

- アンケート調査によると、回答者の約7割が「EKIsport KYOTOの利用をきっかけに府内のイベントなどに行ってみたい」と回答しており、EKIsport KYOTOが府内周遊のきっかけをつくった。
- 万博会場の状況やお客様の動向などを見ながら、利用者のニーズを捉えた特別イベントを次々に企画・実施することにより、府内誘客及び周遊を促進することができた。
- 京都における万博の機運醸成の中核を担い、府域におけるもう一つのパビリオンとして機能した。

府内全域への周遊促進

リアル桃太郎電鉄～ホンマの京都・万博編～

【実施状況】○南部エリア編：5月10日～7月10日

- ・JR西日本 奈良線ルート（京都駅～上狛駅～桃山駅）
 - ・JR西日本 学研都市線・関西線ルート（木津駅～松井山手駅～月ヶ瀬口駅）
- 実績…プレイ数 1,044プレイ 参加者数 2,610人

○北部エリア編：7月1日～8月31日

- ・JR西日本 嵯峨野線・山陰線ルート（京都駅～亀岡駅～和知駅）
 - ・JR西日本 山陰線・舞鶴線ルート（綾部駅～東舞鶴駅～福知山駅）
 - ・京都丹後鉄道ルート（西舞鶴駅～天橋立駅～久美浜駅）
- 実績…プレイ数 846プレイ 参加者数 2,115人



北部エリア編オープニングイベントの様子

京都府周遊スタンプラリー

【実施状況】

第1弾（先着で景品をプレゼント）

○開催期間：7月11日～（8/1に景品が無くなったため終了）

○景品引換者数：331人

第2弾（抽選で景品をプレゼント）

○開催期間：8月29日～10月13日

○抽選応募者数：214人



もうひとつの京都の異なるエリアを3か所以上巡り、スタンプを集めた方へ景品をプレゼント

実績

周遊企画やスタンプラリーを実施し、延べ5,270人の方々に府内隅々まで周遊してもらうことができた。

成果

「1日で府内縦断」「サイコロの目に従った周遊」「普段行かない駅や土地への訪問」など参加者がゲーム感覚で楽しむことのできる周遊企画は、参加者からも、共に取り組んだ自治体や事業者からも好評を得たため、今後のポスト万博における企画にも生かすことができる。

文化芸術の魅力発信

GATEWAY.KYOTO

京都駅周辺の東・西本願寺を中心とした寺社等において、5分野（いけばな、日本画、写真、彫刻、工芸美術）の作品展示やワークショップ等の取組を実施

- ・いけばな：5月21日～6月1日（東本願寺）
- ・日本画：展示 7月29日～8月3日（渉成園・重信会館） ワークショップ 9月20日、29日
- ・写真：展示 8月6日～31日（渉成園・伝道院他）、ワークショップ 8月30日
- ・彫刻：9月12日～28日（お東さん広場・伝道院） ・工芸美術：10月2日～6日（渉成園）



工芸美術展示

実績

5分野の作品展示やワークショップに、延べ約3万5千人の来場があった。

成果

○「いけばな」「日本画」「写真」「彫刻」「工芸美術」の各芸術団体の枠を超えた横断的な取組の機運が高まった。
○本取組は、寺社や観光施設とのコラボレーションによる新たな文化芸術発信の形に取り組んでいくきっかけとなった。

京都駅ビル開発株式会社の取組

フランスストリートアーティスト/写真家・JR氏によるアート展示

フランスのストリートアーティスト/写真家 JR氏が、京都に在住・在勤する多様な市民 505 名を撮影し、その全身写真を連ねた大規模写真作品《クロニクル京都 2024》を制作し、京都駅ビル北側通路壁面に掲出。

幅約 22.55m、高さ約 5m の壁画には、ドラッグクイーン、小学生、消防隊員、三味線奏者、販売員など、異なる背景を持つ市民が並び、現代の京都を構成する人々の多様性を視覚的に示す内容となっている。

これにより、国内外の来訪者に対し、京都の文化的多様性を効果的に発信した。

期間：4/11(金)～10/31(金)
会場：京都駅ビル 北側通路壁画



JR, The Chronicles of Kyoto, Close Up, Japan, 2024 © JR

成果

JRの《クロニクル》シリーズとしてはアジア初の展開となり、京都駅ビルが国際的な文化発信の舞台として注目を集めた。市民参加型アートであったことから、参加者本人・家族・友人など、数千人規模の来訪誘発効果が生まれた。

文化芸能の魅力発信

音楽講談『京都博覧会』

京都ゆかりの講談の名跡4代目玉田玉秀齋氏とアコーディオン奏者・かとうかなこ氏による音楽講談『京都博覧会』を開催。明治初期に京都で開催された国内初の博覧会をテーマに、幕末から明治の京都の街の衰退と発展の歴史を創作講談と音楽、記録写真で構成。当時の京都の人々の思いや気概を語り、今に息づく京都の文化、産業が芽吹いた瞬間を描いた。

日時：2025年5月5日（月）
会場：京都劇場



成果

歴史・芸能・音楽を融合した独自のプログラムにより、京都の文化的背景を多角的に発信することができた。

西日本旅客鉄道株式会社の取組

京都まるごと博覧会

目的： 京都駅周辺一帯での文化芸術によるまちづくり推進および、府内各地の魅力発信・体験機会の提供により、京都府全域への誘客を図る。大阪・関西万博の機運を向上させるこれからの取組みのキックオフ的イベント

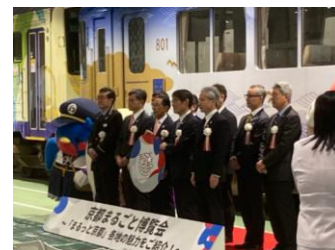
【イベント内容】

・**実施期間：** 2025年4月4日（金）～4月8日（火）

・**場所：** 京都鉄道博物館

・**内容：** オープニングセレモニー

「海の京都」「お茶の京都」「森の京都」「竹の里乙訓」ラッピング列車・ラッピングバスの展示
魅力発信ブース等



京都鉄道博物館オープニングセレモニー

まとめ

4団体による多くの施策を発信し京都府内の地域を巡って頂ける機会を提供出来たことは、地域共生としてまた鉄道利用促進の観点から見て良かった。

成果

官民一体となり事業を進める事が出来たという実績を今後の京都府内での取組みに活かしていく。（万博レガシーの一つと考える。）



展示風景

企画展「1970年 あゆみの交通展」

目的： 大阪・関西万博を記念し、55年前に開催された万博の様子とともに、1970年頃の京阪神エリアの鉄道を中心とした交通の発展について紹介

【イベント内容】

・**実施期間：** 2025年5月17日（土）～7月13日（日）

・**場所：** 京都鉄道博物館

・**内容：** 当時の映像やパンフレットやグッズ、模型など資料で紹介
大阪・関西万博の「関西パビリオン 京都ブース」の展示
講演会、スタンプラリー等

実績

開催日数50日間 約10万人近い来館者

成果

過去の万博紹介により懐かしむ声を頂いたり、大阪・関西万博の広報活動としても機能できた。



企画展
「1970年 あゆみの交通展」

京都府全域への誘客

目的：府内各地の魅力発信・体験機会の提供により、京都府全域への誘客を図る。

【イベント内容】

- ①あつまれ茶問屋フェス2025に合わせたツアーにWEST EXPRESS銀河を活用
- ②地元団体によるおもてなし特別体験のツアーに森の京都QRトレインを活用
- ③ゲームの桃太郎電鉄をリアルで体験出来る、リアル桃太郎電鉄～ホンマの京都・万博編～をより楽しんでもらうため主要駅に看板を設置

- 実施期間：**
- ①2025年6月7日（土）
 - ②2025年10月11日（土）
 - ③2025年5月10日（土）～8月31日（日）

- 場所：**
- ①奈良線
 - ②山陰線
 - ③奈良線/山陰線/舞鶴線/京都丹後鉄道

- 内容：**
- ①奈良線内をWEST EXPRESS銀河が初めて運行
 - ②森の京都QRトレインを福知山駅まで運行
 - ③アプリ内でサイコロを振り、ゲームの桃太郎電鉄をリアルに体験



WEST EXPRESS銀河ツアー



森の京都QRトレインツアー



リアル桃太郎電鉄
駅名看板風シート設置



リアル桃太郎電鉄コラボ
アクリルキーホルダー

実績

- ①完売
- ②完売
- ③南部編/北部編 延べ5,270人

成果

官民一体となり事業を進める事が出来たという実績を今後の京都府内での取り組みに活かしていく。
(万博レガシーの一つと考える。)

京都市の取組

文化芸術の魅力発信

Lightseeing Kyoto South

【概要】

若手アーティストが活動しやすい環境づくりに地域一体となって取り組む「若者・アートモデル地区」の創出を目的に、京都駅東部・東南部エリアにおいて、周辺の文化芸術関連施設等と連携し、京都で活動する若手アーティストの作品展示などによる周遊型アートイベントを開催。

【実施内容】メイン会場

期間：10月4日～11月16日
会場：崇仁市宮住宅9棟、hatoba cafe、ギャラリー京都七条

【実施内容】連携イベント

期間：10月上旬～11月中旬
会場：京都市立芸術大学 ギャラリー@KCUA、
TERRADA ART STUDIO 京都、
THEATRE E9 KYOTO ほか



実績

連携イベントを含め、約15,000人の来場があった。

成果

京都ゆかりの若手アーティストの活動の場を創出するとともに、エリア周辺の文化芸術関連施設等とも連携することにより、京都駅東部・東南部エリアでの周遊を促進した。

京都の食文化を発信

京都食肉市場まつり2025

【概要】

すき焼き・しゃぶしゃぶ発祥の地、牛肉の消費額全国上位、北海道から鹿児島まで全国から厳選された牛・豚が集まる京都はまさしく「肉の聖地」。「肉の聖地」京都を100年以上にわたって支えてきたのが京都市中央食肉市場である。京都市中央食肉市場でこだわりの仕入をする京都の有名店と、厳選された牛・豚を出荷する産地が協力して、京都食肉市場ブランドのお肉を堪能でき、また農産物や会場特別価格で精肉を購入できるイベントを開催。

【実施内容】

日時：5月11日（日）10時～16時30分
会場：梅小路公園七条入口広場



イベント会場の様子

実績

14店舗と、府市が連携して出展したPRブースに、延べ約2万2千人の来場があり盛況であった。

成果

「京都食肉市場ブランド」の牛肉、豚肉を、広く市民、国内・海外からの観光客の皆様にアピールし、食肉の消費促進、食肉文化の理解の増進等を図ることができた。

アフター万博の取組

アフター万博の取組

きょうと周遊デジタルクイズラリー「万博のカケラを探せ★」

大阪・関西万博の会場を彩り、来場者を楽しませた展示物等（万博のカケラ）を探して、クイズに挑戦しながら、府内各地を周遊するデジタルクイズラリー（各スポットで特製カードを進呈）

【実施期間】2026年2月2日（月）～3月16日（月）

【対象スポット】知恩院（アイルランドパビリオン彫刻）【480人】、福知山鉄道館フレール（シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」関連展示）【140人】、木津川市加茂文化センター（トイレに使用された残念石）【202人】、長岡京市柳谷観音（脈々花手水）【201人】、流れ橋（日本館で関連展示）【256人】、宮津市のオブジェ「海燕」（ミyakumyakum型）【122人】

【参加者】延べ 1401人



アフター万博イベント「またね。万博」

大阪・関西万博の開催を契機として、京都に関心を持ち、来訪して下さった皆様に、さらに京都の魅力を伝え、府内各地を周遊していただけるよう、アフター万博企画と今後開催される大型イベントのPRを掛け合わせたイベントを開催

【日時・会場】2026年3月14日（土）11:00～17:00 京都駅前広場

- 【内容】①大阪・関西万博、GREEN×EXPO70スタンプ計14種設置、関西パビリオン京都ゾーン振り返り展示
②「緑化フェアin京都丹波」「GREEN×EXPO2027」、「ワールドマスタースゲームズ2027関西」PRブース
③ステージイベント（上記3イベントのPR及びミyakumyakum、トウクントウクンなどのキャラクターグリーティング）

【来場者】延べ8,200人



アフター万博キャラバン

府内各地のイベントにおいて、関西パビリオン京都ゾーンの備品や映像の展示、万博公式スタンプの設置などにより、万博会場の雰囲気を感じ、万博の感動をもう一度味わっていた。

京都鉄道博物館、長岡京市防災フェスタ、春空のむこうフェスタ（向日市）、茶源郷和東「茶の匠」からのおもてなし、アフター万博キャラバン天橋立など

【スタンプ押印者数】延べ30,000人



実績と成果

万博会期終了により万博ロスを感じている方向けに、府内各地を巡りながら、京都の万博関連コンテンツを体験していただくイベントや周遊企画を実施し、多数の方に府内各地を周遊していただくことができた。